



2026年4月27日

会社名 塩野義製薬株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 CEO 手代木 功  
(コード番号 4507 東証プライム)  
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 京川 吉正  
TEL. 06-6209-7885

## 2026年3月期 配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役会長兼社長 CEO：手代木 功、以下「当社」）は、2026年3月期の期末配当予想について下記の通りとすることを、本日開催の取締役会において決議しましたのでお知らせいたします。

### 1. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想（2025年5月12日）		33.00円	66.00円
今回修正予想		38.00円	71.00円
当期実績	33.00円		
前期実績（2025年3月期） <sup>※</sup>	28.00円	33.00円	61.00円

※ 当社は、2024年10月1日付で株式分割（1：3）を行っております。2025年3月期の中間配当金（実績）および年間配当金（実績）については当該株式分割後の金額を記載しています。

### 2. 配当予想修正（増配）の理由

当社は、株主の皆さまに中長期的な利益成長とともに実感していただけるよう、成長投資と株主還元の最適なバランスを保ちながら、企業価値の最大化を図るための経営施策を推進しています。そして、現在進行中の中期経営計画 STS2030 Revision においては、株主資本配当率（DOE）4%以上を株主還元の指標とし、企業価値の成長に応じて着実かつ安定的に配当を高めていくことを目指しています。

2025年度は、当社の収益基盤である HIV 事業の着実な進展を背景として、2026年度以降の飛躍的な成長に向けた大規模な事業投資を複数実行した1年となりました。

HIV 事業では、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）とともに生きる人々の根源的なニーズに応える長時間作用型注射製剤（Long Acting Injectable：LAI 製剤）の発売以降、これまでの経口薬を中心とした市場を LAI 製剤に置き換えていく英国 ViiV Healthcare Ltd.（以下、ヴィーブ社）の戦略が奏功し、当社がヴィーブ社に導出したカボテグラビルを含む LAI 製剤の Cabenuva（治療薬）と Apretude（予防薬）が順調に市場に浸透しています。また、さらなる成長を担う第3世代 HIV インテグラーゼ阻害剤 S-365598/VH4524184の開発も大きく前進し、6カ月に1回（年に2回のみ）の投与で治療が期待できる良好な臨床試験結果も公表されました。これにより、HIV 事業が中長期にわたり当社の収益基盤を支える見通しが、一層確かなものとなってきています。こうした背景のもと、当社はパートナーシップのさらなる深化と HIV 領域へのコミットメントの強化のため、ヴィーブ社への追加出資を行いました。

また、中長期の成長の源泉となる自社創薬力と重要な事業基盤のひとつである国内事業の強化を目的とした JT グループ医薬事業の M&A、そして、海外事業、特に米国における販売力の強化と感染症領域に続く成長領域としての希少疾患事業の確立を目的としたエダラボン事業の買収を行いました。これら3つの大きな事業投資により、今後の成長に向けた経営基盤の強化および事業基盤の獲得が順調に進展しました。

業績面も着実な進展を遂げています。国内事業では、抗コロナウイルス薬ゾコーバおよび抗インフルエンザウイルス薬ゾフルーザが各感染症薬市場において高いシェアを獲得し、感染症流行時には安定的に収益へ貢献するビジネスモデルを構築しています。さらに、JT グループ医薬事業の M&A による鳥居薬品の完全子会社化と非感染症領域の豊富な製品群の獲得、不眠症治療薬クービビックの販売拡大、うつ病治療薬ザズベイの新発売を通して、流行による影響を受けにくい領域である QOL 疾患領域における収益も拡大しています。

海外事業は、グラム陰性菌感染症治療薬セフィデロコルを中心として順調に成長し、海外子会社/輸出の売上収益は、5期連続で過去最高を更新する見通しです。HIV 事業については、引き続き、LAI 製剤を中心としてヴィーブ社の HIV フランチャイズが拡大し、同社から受領するロイヤリティーと配当金も堅調に増加しています。

これらの背景ならびに財務状況、STS2030 Revision の株主還元指標である EPS、DOE、ROE 等を総合的に勘案した結果、前回発表（2025年5月12日）の期末配当予想を、1株当たり5円増配し、38円に修正することとしました。これにより、中間配当と合わせた年間の配当金は、前期と比べて10円増の1株当たり71円となり14期連続の増配となる予定です。

以上

[お問合せ先]

塩野義製薬ウェブサイト お問い合わせフォーム：

<https://www.shionogi.com/jp/ja/quest.html#3>.